

ゆたかな労働と生活の場をめざして

発行. 社会福祉法人ときわ会

〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 519

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
あさやけ喜平橋食堂	小平市上水南町 2-23-21-5	TEL 042-312-0793
地域生活支援センターあさやけ	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



4年ぶりの1日外出で西武園ゆうえんちへ。三人そろって「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」の前で記念写真。

夏のボーナス外出

あさやけ作業所



似鳥 友紀さん
(あさやけ第二作業所)

仲間紹介

ひとりひとりが太陽



あさやけで頑張って六年

私は、あさやけ第二作業所に入ってから六年がたちます。体調を崩して入院したこともありましたが、病院の先生や作業所の職員さんと相談しながら何とか復帰してまた作業所に通っています。月曜日から金曜日まで毎日作業所に來ていますが、無理をしないように木曜日だけは午前中で早退しています。

今、外の作業ではATM無人支払機の店舗の清掃、小平市内の農家さんでトマト収穫などを行っています。作業所の中では組みひもを作ったり布のボールの中に入れる布切れを切ったりしています。ATM作業は清掃の仕方を覚えて勉強になります。トマトの作業は収穫できた時はとても



発病は十六歳。親が精神障害への理解がなく、体裁が悪いと言って精神病院への通院を継続できませんでした。向精神薬を飲みたかったが飲めなかったため、大学の受験勉強も辛く、またホテルでベルボーイとして十八時間ぶっつけで働かされたのも辛かったです。その後、父が亡くなり母との二人暮らしでしたが、その母親も亡くなり一人になりました。そのころ、幻聴や不眠等に襲われ、四十歳前半で初めて精神病院に入院しました。三年入院後にホステルを利用、その時あさやけ第二作業所につながり、その後一人暮らしをしていくところサンライズを紹介されました。身の回りのことは自主的にやり、ほかの入所者といろんな話をしました。サッカークラブの話や他の入居者の身の上話を聞いたり、テレビを見たり和気あいあいとしていました。障害者自立支援法ができ、サンライズは通過型グループホームになっていました。通過型になってから、たくさんの方が入れ替わったなあと思います。治療をはじめたら再び幻聴が出現。幻聴から逃れるためにたくさん絵を描きました。四回くらい展覧会をひらきました。幻聴は「何かくれ、くれ」と聞こえたり、「こちやこちやうるさ

回顧録 (今思うこと)

共同ホームサンライズ
青柳 直哉

いことや心外なことを言われ、寝入りばなに聞こえると眠れませんでした。薬の調整後幻聴は消えました。その後、腰椎圧迫骨折で入院、救急車で運ばれ輸血で命が助かったこともありました。ここ数年は入院もなく過ごせています。今の生活は好きなことができて快適です。今好きなことは絵を描いたり、図書館から本を借りて物理の勉強をすること。いざという時に相談にのってもらえるのがいいです。年齢も上がり、自分ももう長くはないので満足に死ねるか、やり残したことはないのかと考えています。今後一人暮らしというよりは誰か見守ってくれ存在がいるほうが安心です。今の希望は、ルネサンス期の絵(モナリザなど)を原寸大で絵筆で描いてみたい。ゴッホの展覧会に行きたい。科学の研究、核兵器の点火(爆発発火機構) マグネット・シールド(磁気遮蔽)火力の入力信号の電波が打ち消し合って(ポインティングのヴェクトルの定理) 核の爆発が遮られる原理についての研究を続けたい。二〇一九年元旦に行った鎌倉の七里ガ浜にもう一度行ってみたい。悔いのないように生きていきたいです。(全国大会の暮らし、居住分科発表表より)

サングリーン

私達が参加した分科会では、同じあさやけのグループホームのサンライズの職員とメンバーさんもレポーターとして発表を行いました。

通過型のグループホームとは居住期間が限定されたもので、主に一人暮らしする前のステップ・練習といった意味合いがあること、通過型は現在、東京都だけの独自のシステムであることを知りました。地方のレポーターや参加者のなかからも、この通過型のシステムがどういふものなのかという質問や導入したい声があがっていました。

利用者さんの特性や安全性も考慮しつつ、常に話し合い、お互いの絆を深めながら、出来る限りの可能性を見出して、一人暮らしへの実現をサポートしていく大切さを感じました。

そして、レポーターの利用者さんから、一人暮らしで得られる自分の時間だけでなく、みんなと食事とかするの楽しい、と話があり、選択出来る自由やバランスをとることも暮らしの質を高める要素だと思いました。

岩本 学

私は、ずっと居られるグループホームに住んでいるけど珍しいと言われる。いまのグループホームは外出出来るけど門限があり、自分の部屋はあっても他の同居人との人間関係もあって落ち着かない。だから、一人暮らししたいけど今は医者からも難しいと言われている。今回の大会のレポーター（一人暮らしを実現出来た利用者さん）の話聞いて、凄いと感動したけど、自分は果たして一人暮らし出来るのかと情けなくも泣いてしまいました。

それでも期間限定の通過型でもいいから一人暮らししてみたい！お部屋じゃなくて一人のお家として、人と距離感が自分割から決められること、暮らしのなかで出来ることが増やせることで自立したいと思いました。「ひとりで」「一緒に」が選べるほうがいい。

実は、一人で暮らせる期間は意外と短いんだというコメントが心に残りました。

磯野 祥子

あさやけ第二作業所

全国大会は、一日目に全体会議に参加し二日目に分科会に報告者として参加しました。「すまいと暮らし」という分科会でした。グループホームサンライズでの生活の経験の話しました。50人くらいの参加者でしたが練習をしていたので滞りなく話ができて、盛んな拍手をもらって嬉しかったです。サンライズ世話人の蕪木さんをはじめ多くの方々のご協力をいただきました。ありがとうございました。

青柳 直哉



きょうされん全国大会に参加してきました！

8月31日・9月1日の2日間、埼玉で開催



あさやけ風の作業所



きょうされんからレポートの依頼がきて、なんで僕だろうか不思議でした。しかも表現活動というテーマが、40数年前に「音楽構成 あさやけの仲間たち」コンサートを作った理由と経過と、こげら合唱団についてのことを書いてほしいと依頼でした。初めはむかしのことだから、面倒くさいと思い、一度ことわりました。

再度所長から話があった時に、所長にどうして僕が書くのと聞いたら、「相手が僕を指名して

いる」との事なので、相手に悪いと思って、原稿を書く気になりました。

原稿に取りかかると、あさやけのコンサートのことは、僕が書いたあさやけの歴史の中にあっただけで、そのまま利用し、こげら合唱団とこげらコンサートのことは、当時の事に詳しい人に教えてもらいながら、約2ヶ月間で書き終わりました。

所長に校正を頼み、5回もしてくれました。僕の気持ちとしては、僕の下手な文章がだんだんと読んでくれる人たちに、わかりやすくなっていき嬉しくなり、見やすくなりました。大変でしたが、素晴らしいものになりました。

7月に分科会のアドバイザーの人からLINEをもらいました。僕はレジェンドだと言ってありました。嬉しい気持ちと恥ずかしい気持ちで半々でした。

当日、分科会に人がいるのか、心配でしたが、部屋に入ると人が30数人いたので安心し、気合を入れました。僕のレポートは、所長さんに読んでもらいました。レポートに対しての質問はあまり出ませんでした。

コメンテーターの人は、福井のハスの実から来た人で、午前の後半は、ハスの実の活動紹介でした。その人が障がい者福祉に目覚めたのは、40数年前に「音楽構成 あさやけの仲間たち」の素晴らしい舞台を見てとても感動し、感激したらしく、「あの舞台を見なければ、僕はこのことはないと思います。」と言ってくれたので、本当にとっても嬉しかったです。大変驚きました。

午後からは、各作業所の表現活動の実践報告をしてもらいました。

柳原 昭三

柳原さんのレポート発表の付添で、「表現活動」の分科会に参加しました。あさやけのコンサート活動が、市の障害者団体全体のこげらコンサートにつながり、全国にも影響を受けて、その地域での活動につながっているということを知りました。40数年前のあさやけの取り組みが、こんなにも評価されていることに驚きとともに、足元を振り返ったときに、ときわ会の中で、新しい職員たちにこの取り組みをしっかりと伝えられているのだろうかという思いになりました。幸いあさやけコンサートのレコードをCDにしてください、気軽に聴けるになりますので、活用できればと思います。

西浦 孝幸

あさやけ鷹の台作業所



メンバー3名と一緒に参加しました。改めて全国の仲間の声を聴くことができる貴重な場だと感じました。

当日はメンバー3名の希望により、利用者交流企画「舞い踊り叩こう荒馬座と一緒に」に参加しました。午前中の公演では力強い太鼓と踊りに圧倒され、午後のワークショップでは参加した3名が実際に舞台上で太鼓を叩きほかの仲間たちと一緒に披露しました。舞台上で踊り太鼓をたたく仲間の方々の笑顔がとても印象に残っています。

今世界では戦争が起き、私たちの生活にも様々な影響が出ているなかでの今大会、誰もが安心して生きていける社会を考えさせられました。

矢崎 杏菜

障害者の夢と希望を聞きました。とても勉強になりました。太鼓を叩きました。藤井克徳先生のお話はとても難しくわからないこともありましたが、でも平和のこと、コロナウイルスのことはとても分かりやすかったです。また大会があったら参加してみたいです。

原 太

話を聞いたり動画を見たり勉強になりました。男性と太鼓を叩き面白かったです。戦争の激しさが本当にすごすぎて怖いんだなと思いました。日本が戦争にならないようにみんなで頑張りたいです。

鈴木 慎一

荒馬座太鼓が楽しかった。ソーラン節の太鼓を叩きました。藤井先生の本を買いました。庄司さんが大会にいました。来年は滋賀に行きたいです。

内倉 健助

<大会スローガン> さげぼう 命の尊さ いたこう 人権の重み つなごう 平和への願い ~わたしらしく あなたらしく 生きられる社会を~

久しぶりにあさやけサマースクール開催

7月31日から8月2日までの3日間、2019年から4年ぶりとなるサマースクールを開催しました。あさやけサマースクールは施設を開放し、夏休み中の余暇活動と作業体験を目的として小平市内在住の障害を持つ生徒さんを対象に40年近く行ってきました。ところが2020年よりコロナ感染症の流行があり2年間は開催せず、昨年は3年ぶりに開催を予定していたものの直前に第7波が到来しスタッフ・参加者の罹患が見られたことから中止…となりました。

今回久しぶりの開催ということで規模を5日間から3日間へと縮小しながらも11名の参加者とボランティア教員、美大の学生とあさやけ職員のスタッフ態勢で行いました。

作業は下請け作業班、ふさん作りの縫製班とお菓子作りの製菓班の3グループに分かれ、中日の午後は武蔵野美術大学の学生さん達企画による創作活動を行いました。

以前は複数回参加いただいている生徒さんが多く、スタッフの側からすると回を重ねるごとの成長ぶりも楽しみの一つではありましたが、今回4年間というブランクがあったことから「初めての参加」という方が殆どでした。今後もサマースクールは続いていくこととなりますが、また次回たくましくなった姿でお会いできることを楽しみにしています。

最後に忙しい中、実行委員会や当日スタッフとしてご協力いただきました各校教職員・手をつなぐ親の会の皆様、創作の企画・実践に尽力いただいた学生の皆さん、本当にありがとうございました。



サマースクールのマスコット
サマペンくん (美大生作)



縫製班



下請け班



創作活動



製菓班

地域に支えられて夏祭り開催

8月3日、4年ぶりにサングリーンのメインイベントとも言える「夏祭り」が開催されました。職員の入れ替わりで、前回の夏祭りを知っている職員はいなく、夏祭りを経験しているメンバーから話を聞いたり、非常勤から以前の夏祭りの資料を借りたりしながら、打合せを重ね準備をしました。

そもそも夏祭りを開催するのは、地域の皆さんにサングリーンを知ってもらうことが目的です。開催するにあたり、サングリーンの自治会の会長さんにご挨拶をしに行った際、こちらで渡したあいさつ文を回覧板で回していただき、自治会全体にサングリーンの夏祭りがある事を伝えてくれました。

暑さの強いメンバーと一緒に近隣200件以上、チラシのポスティングも行いました。また、夏祭りのポスターを近隣の商店街に貼らせていただきたいとお申しに行くと、どの店のみなさんも快く張ってくださいました。地域の方々のご協力もあり、夏祭りの開催を広く宣伝することができたのです。

夏祭り当日は、すこぶる猛暑の中、近隣の家族連れや、子ども達、センターや第二などのメンバーも沢山来てくれました。ポスターを見て来てくれた人も多く、賑やかな夏祭りとなりました。

サングリーンのメンバー達も、

- ・焼きそばを何度も買いに来てくれる人がいて嬉しかった
- ・ラムネが完売した
- ・知り合いがきてくれた
- ・武蔵野美術大学の実習生の催し物が楽しかった
- ・無事に終わってよかった

など、明るい感想が多く聞かれました。

地域の方々のご協力もあり、無事に開催できた夏祭り。今回の経験を生かし、来年に繋げていきたいです。お越しいただいた皆さん、本当にありがとうございました！



集まれ！障がい福祉のしごと 合同就職相談会 in こだいら

週1回～
短時間もOK

小平市内で働ける求人あります！

20代から70代のスタッフが活躍中！
フルタイム、パートタイムなど雇用スタイルもさまざまです

参加無料

服装自由

無資格・未経験歓迎

事前予約可

令和5年

当日受付もできます

9月30日(土) 10:00～15:00

ルネこだいら B1F レセプションホール

【主催】小平市・集まれ！障がい福祉のしごと in こだいら実行委員会
【共催】社会福祉法人東京社会福祉協議会 東京都福祉人材センター・ハローワーク立川

合同就職相談会

各法人の採用担当者が、仕事内容に関する疑問や質問にお答えします。求人についての詳しい説明も各ブースで行います。パンフレット等の資料も用意しています。

事業所紹介

各事業所の活動や仕事の様子などをパネルや動画で紹介します。

ふらっとまるしえ

事業所の利用者さんが作ったおいしいお菓子や素敵な雑貨を『まるしえ』にて販売します。

東京都福祉人材センターコーナー

障がい福祉分野の職種や資格のことなど、仕事に関する総合的な相談をお受けします。
ガイダンスの時間もあります。

予約申込(電話のみ)8/21 受付開始

小平市障がい者支援課

TEL 042-346-9540

※面接希望の方は、事前の予約をお願いします。



小平市ホームページ
こちら↓



集こた!!

当日のお問い合わせは下記へ
090-2238-3856(9/30のみ)

※履歴書は原則不要ですが、面接を希望する場合はご持参ください。

廃品回収のお知らせ

7月の廃品回収の回収量は5,970 kgでした。内訳は新聞4,070 kg、雑誌・ダンボール1,900 kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて80,830円でした。

次回は10月21日(土)が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。

■回収品は玄関前にお出しください。回収時間は午前9時から12時30分の予定です。